

～ IUCN テクニカルセミナー・シリーズ (第1回) ～ —乾燥地・半乾燥地をめぐる国際的な課題と取り組み—

講 師：ジョナサン・デイビス博士

IUCN グローバル・ドライランド・プログラム コーディネーター

日 時：2016年11月14日(月) 18:00～20:00 ごろまで

会 場：大正大学地域構想研究所(15号館)3階 ([アクセス方法](#))

プログラム

18:00～18:40 デイビス博士による講演(逐次通訳あり)

18:40～ 質疑応答と議論

19:00～ 懇親会(会費制：一人1000円)

ジョナサン・デイビス博士は、IUCN事務局のグローバル・ドライランド・プログラムのコーディネーターである。同プログラムは、サバンナ、草地、オアシスなどの世界各地で見過ごされがちな乾燥地・半乾燥地の統合的な生態系管理を推進している。これらの土地は、幅広い生物多様性の棲みかであると同時に、人類の約3分の1を支え、気候制御、食料や水の供給といった全地球的に重要な生態系サービスを提供している。IUCN グローバル・ドライランド・プログラムは、



コミュニティを中心とした持続可能な開発を通してレジリエンスを強化し、これらきわめて予測が難しい環境の評価やローカルガバナンスの強化や、環境保全のためのインセンティブ構築を進めている。また、同プログラムは、国連砂漠化対処条約(UNCCD)と土地劣化中立に関するSDGs目標15.3のIUCNにおける担当部門ともなっている。

なお、以下の2つのテクニカルブリーフィングは、IUCNのドライランド分野における優先課題を完結にまとめたものとなっている。

1. [“Land Degradation Neutrality: implications and opportunities for conservation. Nature Based Solutions to Desertification, Land Degradation and Drought”](#);
2. [“Homing in on the Range: enabling investments for sustainable land management”](#);

デービス博士は英国国籍で、20年以上にわたり、南アジア、アフリカで過ごした後現在はケニアに拠点を置いている。IUCN事務局には10年以上勤務し、「持続可能な牧畜に関する世界イニシアチブ」を立ち上げるとともに、東南アフリカ地域を対象としたドライランドプログラムを立ち上げ、2011年には、グローバル・ドライランド・プログラムを開始した。デービス博士は、農業経済学の博士号と熱帯農学の修士号を保有する。

■会場アクセス：



■住所

大正大学 地域構想研究所 (15号館) 〒114-0023 東京都北区滝野川 6-2-3

■電車をご利用の場合

都営地下鉄三田線...西巣鴨駅下車 徒歩 2分

JR 埼京線...板橋駅東口下車 徒歩 10分

都電荒川線...新庚申塚駅又は庚申塚駅下車 徒歩 7分

■申し込み・お問い合わせ先：

大正大学地域構想研究所内 〒114-0023 東京都北区滝野川 6-2-3 (大正大学 15号館)

IUCN 日本リエゾンオフィス コーディネーター 古田尚也

naoya.furuta@iucn.org; Tel: 03-5944-5482